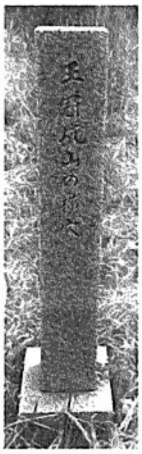
まんまんちゃんニュース

株式会社 高田
大聖寺永町38の1
☎72-1275
第18号 平成28年夏

みきおちゃんご挨拶

5月2日のタカダ人形供養祭には、たくさんのご参加を頂き、誠に有難うございました。お寺様の読経、皆様のご焼香により、祭壇に飾られた人形達が「今まで大切にしてくれて、ありがとう」と語りかけてくれているように感じました。厳粛かつ穏やかにお別れすることが出来ました。なお、皆様からの供養料、お花の即売会の売上は全て加賀市社会福祉協議会に寄付をさせていただきました。次回は11月を予定していますので、皆様のご参加をお待ちしております。

探検チョロ チョロぼくのまち



王冠坑山跡石碑▶

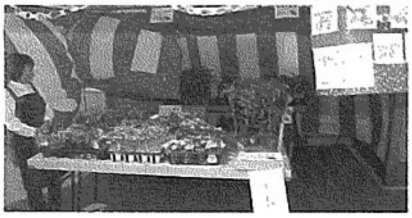
今回ご紹介するのは王冠坑山跡です。加賀市内に坑山なんてあったの？と思ったあなた、実はあったんです。この坑山は、なんと山ではなく海岸に面した丘陵地帯にあります。海岸沿いのサイクリングロードで、田尻町と美岬町の境目付近に案内看板があります。看板の紹介によると、昭和15年から29年まで亜炭を採掘していたとの事。（※亜炭とは石炭の一種ですが、もっとも石炭化が進んでいない発熱量の低いものを指します。戦後の一時期使用されていましたが今では燃料として使用されておりません。）採掘された亜炭は、県内の工場へ運び動力源にしていました。付近を歩いてみると、海岸の断崖絶壁のように見えます。坑山と言われなければまったく分かりません。14年間だけしか採掘されなかった坑山。加賀市にお住まいの方でも、ご存じの方はあまりいないと思われます。私も行くまで知りませんでした。これからの季節、サイクリングや海水浴に来た際に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

人形供養祭の様子

お人形を祭壇へ

どうぞ！精進料理試食コーナー

きれいでお得！お花の即売会



お寺様の読経

なるほど！ザ・おくり道

お彼岸

彼岸には春彼岸と秋彼岸があります。春彼岸は3月の春分の日をはさんで前後3日間、秋彼岸は9月の秋分の日をはさんで前後3日間で、それぞれ合計7日間です。仏教では、生死の海を渡って到達する悟りの世界を彼岸といい、その反対側の私たちがいる迷いや煩悩に満ちた世界を此岸（しがん）といいます。彼岸は西に、此岸は東にあるとされており、太陽が真東から昇って真西に沈む春分と秋分は、彼岸と此岸がもっとも近い日であると考え先祖供養をするようになったようです。お彼岸は他の仏教国にはない日本だけの行事と言われています。春の種まきや秋の収穫とも結びつき、自然に対する感謝や祈りが、ご先祖様に感謝する気持ちにもつながり、大切な行事となりました。

編集後記

タカダでは今年度より、人形供養祭をはじめ色々なイベントを企画しております。今回の供養祭はおかげさまでたくさんのお客様に喜んで頂けました。今後のイベントも、皆様がお気軽に参加して頂けるようなものを考えていきたいと思います。また皆様からのご意見などもどしどし募集中です。

笹

ニュースレターのご感想やご質問などお気軽にご連絡下さい。
アドレス http://www.takada-sougi.co.jp FAX 72-1265